

# 平成19年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

浅間台地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

### (1) 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

高齢者や地域の住民が利用する施設として、安全かつ安心して利用して頂けるように施設設備の保守・感染症防止対策などを講じています。また確実な事業実施及び快適な利用に向けてメンテナンスを実施します。

#### イ 効率的な運営への取組について

委託料について、人件費・事業費・事務費等の全てに渡り、物品等の購入の必要性を考慮し、適切な事務手続きの後購入するなど無駄な出費を抑え、常に効率的な運営に心がけます。また各事業の目的を十分理解し、その特性が活かされるよう取り組みます。

#### ウ 苦情受付体制について

プラザが実施する事業について、利用者から苦情があった場合は、マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応します。  
苦情担当職員は、管理者等に連絡をします。必要に応じて苦情調査検討委員会を開催し事実関係や改善策を検討します。その結果はご利用者に説明をします。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

浅間台では、プラザ・養護・特養の3施設が、消防計画及び火災対策マニュアル・地震防災マニュアルに基づき一体的に対応します。また災害時における在宅要援護者の特別避難場所として避難場所・備蓄物資の提供をします。

オ 事故防止への取組について

安全対策については、利用上予め危険なものを排除するなどハード面の対策を実施するとともに、経験に基づき事故の危険を事前に察知し、必要な安全対策を講じます。また、ミーティングでの打ち合わせやインシデントシートを活用するなど常に関心を持って業務にあたります。リスクマネジメントの意識を高めます。

カ 情報公開への取組について

介護サービス情報公開制度に基づき積極的に応じます。

キ 環境等への配慮及び取組について

シックハウス症候群・科学物質過敏症に対する対策として公共建築物シックハウス対策ガイドラインに基づき、日々換気し工事の際には必要な対策をとるなど適切に対応・維持します。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

実施要綱・人員配置基準に基づき適切に配置します。

イ 職員の研修計画について

日々の朝夕ミーティング及び各職種毎の会議、またプラザ全体における部内研修（毎月）、更に法人全体での研修会（年2回）を開催し、必要な研修及び情報提供等積極的に参加を促します。また、非常勤職員にも研修参加を促します。

ウ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護基本規則及び同対策マニュアルに基づき、適切な実施に努めます。

### (3) 事業内容

#### ア 関係機関との連携について

各事業の特性に鑑み、区役所各部署・社会福祉協議会・その他サービス提供事業者等との綿密な連携に努めます。

#### イ 施設や自主事業に関する広報・PRへの取り組みについて

各事業の特性に鑑み自治会町内会・地区民協・各福祉施設などと連携します。

#### ウ 地域ネットワークの構築について

地域サービス開催の内容は、地域住民の要望等を反映します。  
地域関係機関・関連団体（自治会・町内会・民生委員会・児童委員・地域住民・地域団体・地域施設・福祉保健機関）との定期的な会合や情報交換を実施します。

#### エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域福祉保健計画推進のメンバーとして、区と協力しながら地域に出向き、出張教室などを開催します。

#### オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

同室内に各部門があるため、日常的に情報交換を行っています。  
また、毎朝ミーティング、月2回の定例ミーティングを行い、特定高齢者、要支援者をはじめ連携を図ります。

● 地域活動・交流事業

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組み

独居高齢者、老々介護などの高齢者が、他地域より比較的多いです。ケアプラザの立地により、交通手段が必要であると考えられます。出来る範囲で、送迎を行います。掘り起こしが、より必要と考えられます。

イ 地域や地域住民との交流・連携の取り組みについて

人的資源や場所の提供を通し、各種地域活動へ参加しています。地域団体の活動が福祉保健活動団体、町内会、自治会等と情報交換を行います。

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

年2回（6月、11月）に開催しています。

- ・新役員の紹介
  - ・平成18年度事業報告
  - ・平成19年度事業計画
  - ・平成19年度事業経過報告
  - ・他に質疑応答、運営協議会規約に基づく委員の改選等。
- ・地域に根ざしていくためのご意見・ご指導を頂く。

エ ボランティア育成、及び協働について

ミーティング等を通じてボランティアから意見を抽出しています。ボランティアのネットワーク化を支援します。施設機能を用いてボランティアを受け入れています。風通しによい協働体制の育成に努めます。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

立地条件と相談しながら、地域の実状を勘案し、ニーズの対応と会場利用の促進を両立できるように努めます。

#### カ 地域活動・交流部門における自主事業の実施について

自主事業の実施後に、参加者が自主活動化するための取り組みをします。より多くの利用者に参加してもらえるよう、各種工夫をします。地域交流の場となるよう参加者同士の交流を図る機会を提供します。

#### キ 地域福祉保健計画の推進への取り組みについて

区、社協、地域包括保健師、看護師で連携しながら取り組みます。また、地域包括他職種にも情報を共有し、協働します。

### ● 地域包括支援センター事業

#### ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

西区ケアマネ研究会と連携しながら、各研修の機会や民生委員協議会との会合に参加し、顔に見える関係づくりをしながら事業内容について説明します。担当エリアではプラザ地域活動交流と協調し、地区民協、自治会等に参加します。フットワークを軽く、気軽に出向きます。

#### イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

転倒予防骨折教室及びOB会を実施し、地域活動交流事業とも連携をとりながら、仲間作りや老化防止等予防に資する事業を展開します。

#### ウ 介護予防ケアマネジメント事業

要支援、特定高齢者等を対象者として、状態の改善や悪化防止のため身体状況・精神状況・残存機能を適切にアセスメントし、フォーマル・インフォーマル両面を考慮し、いつまでも地域で暮らすことができるように目指します。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

社会福祉士に限定せず、地域包括3職種で相談業務に関わります。  
認知症高齢者等における消費者被害や独居高齢者に対して、権利擁護及び虐待の可能性に関心を持ち、必要に応じて区、社協、民生委員などとも連携しながら、必要な情報提供や広報・早期発見・早期虐待防止などに努めます。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域ケアマネの職能団体である西区ケアマネ研究会と連携を図ります。研究会への役員として研修委員・医療連携委員として参画し、勉強会、研修、情報交換をします。民生委員協議会・医療関係者他、地域の関係機関との連携を図りネットワークの構築を支援します。  
地域のサービスマップを作成し介護予防や予防支援に活用します。  
サービス担当者会議・包括カンファ・相談を通じてケアマネの助言・支援をします。

キ 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

《職員体制》

実施体制は、主として保健師が取り組みますが、件数が多いため包括3職種も取り組みます。  
プラザ併設居宅介護支援ケアマネ、地域の事業所に連携しながら委託をします。

《目標》

積極的に介護予防に取り組む啓発をします。  
地域に介護予防の考えを理解できるように働きかけます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありません。
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

フットワークや気軽に相談ができるように、地域に出向きます。  
緑が豊かな小規模の家庭的なプラザです。

《利用者見込み》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	97	100	105	110	115
10月	11月	12月	1月	2月	3月
120	125	130	135	140	145

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （経過的要介護） 698円
  - （要介護1） 771円
  - （要介護2） 890円
  - （要介護3） 1,008円
  - （要介護4） 1,127円
  - （要介護5） 1,246円
- 食費負担 650円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00 ~ 16:00 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

看護師 1名  
生活相談員 2名  
介護員 5名

《目標》

選ばれる施設・喜ばれる施設を目指します。  
利用者本位のサービス提供をします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

家庭的な雰囲気です。  
体操を積極的に取り入れるなどレクリエーションの「快」を目指します。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
600	605	610	615	620	625
10月	11月	12月	1月	2月	3月
630	635	640	645	650	655

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要支援1） 4,960 円
  - （要支援2） 9,815 円
- 食費負担 650 円
- 
- 

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00~16:00 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

看護師 1名  
 生活相談員 2名  
 介護員 5名  
 （\*通所介護と共同）

《目標》

選ばれる施設・喜ばれる施設を目指します。  
 利用者本位のサービス提供をします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

家庭的な雰囲気です。  
 利用者の皆様の意欲や能力が向上するように工夫します。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
6	7	8	9	10	11
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	13	14	15	16	17



● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤 2 名

《目標》

在宅の要介護高齢者等が介護保険の在宅サービスを適切に利用できるように、要介護者等の依頼により行われる居宅サービス計画の作成、サービス事業者との連絡調整や介護保険施設への紹介等ケアマネジメントを行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- エリア外の場合片道 200円
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

2人とも現場経験が豊かで明るく元気なケアマネです。  
なんでも気軽にご相談ください。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
22	24	26	28	30	32
10月	11月	12月	1月	2月	3月
34	36	38	40	42	44

<以上>

# 平成19年度自主事業計画書

## 浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域活動組織の勉強会	主に支えあい連絡会委員（民生委員等）を対象に、介護予防に関する人材・地域活動組織の育成・支援・ネットワーク作りを行う。（地域交流共催）	7月、11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	ボランティアと職員、ボランティア同士の親睦を深める。また、ボランティア活動における研修やグループワークを行なう。	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 親子であそぼ！	親子遊びや集団遊び・絵本の読み聞かせ等を行い子ども・親ともにネットワーク作りのための場を提供する。	毎月1、2水曜日 (1月、8月を除く) 19回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
在宅介護者のつどい	西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」	5月26日 1月26日

# 平成19年度自主事業計画書

## 浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 親子であそぼ！ パート2	横浜御茶ノ水学館高等部保育科と共催し、親子遊びや集団遊び等を行い子供・親同士のネットワーク作りのための場の提供をする また、共催校の学生に現場体験を通じ、より深く福祉を理解できることを目的とする	7月、9月 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
びすけっと	ボランティアとして資質向上を図り、「親子であそぼ！」の計画・準備・実施を行なう	毎月 第2水曜日 (1月、8月除く) 9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「子育て」 分科会	第6地区において子育て支援に携わっている地域住民の情報交換をする	不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいき トレーニング	認知症予防を目的として音読や計算、漢字の書き取りや軽体操などを行なう	4半期毎に5回

# 平成19年度自主事業計画書

## 浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン 「水仙会」	介護保険を利用していない高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認を目的とし、食事と交流の場、福祉保健に関する情報を提供する	毎月第3水曜日11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニサロン 「心の散歩道」	介護保険を利用しない高齢者の自立支援と独居老人の安否確認を目的とし、交流の場と福祉保健に関する情報を提供する	毎月第4水曜日 9月から5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虹の会	転倒骨折予防の発展教室として基礎教室修了者を対象に講師の指導で体操を行なうことにより転倒予防の為の体力づくりと同時に閉じこもりを防ぐことを目的とする	毎月第2、4木曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もくよう会	転倒骨折予防の発展教室として基礎教室修了者を対象に講師の指導で体操を行なうことにより転倒予防の為の体力づくりと同時に閉じこもりを防ぐことを目的とする	毎月第2、4木曜日 24回

# 平成19年度自主事業計画書

## 浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
給食・配食サービス	西ともしび・第6地区社協・ハマノ愛生園と共催し地域の高齢者の社会交流と食生活の改善・独居高齢者の安否確認を目的とし、食事と交流の場の提供 ケアプラザは活動支援	毎月第1～4金曜日 46回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

## 平成19年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア交流会	デイボランティア	17,000					17,000
	20						
	—						
地域活動組織の勉強会	地域活動者	3,000				3,000	
	民生委員						
	—						
子育て支援親子であそぼ	0～入園前親子	27,000				27,000	
	40組						
	—						
びすけっと	子育てボラ	0					
	58						
	—						
「子育て」分科会	西区民	0					
	25						
	—						
脳いきいきトレーニング	近隣高齢者	0					
	30						
	—						
サロン「水仙会」	独居高齢者	130,000		105,500	5,555	230,000	
	25						
	400円						
ミニサロン	独居高齢者	17,000		2,000		20,500	
	20名						
	100円						
虹の会	高齢者	56,000			56,000		
	20名						
	—						
もくよう会	高齢者	56,000			56,000		
	15名						
	—						
給食・配食サービス	独居・高齢者	0		0			
	各会場25名						
	—						
		306,000		107500	117555	280500	17,000

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成19年度 地域ケアプラザ資金収支予算内訳表

施設名：浅間台地域ケアプラザ

(自)平成19年4月1日

(至)平成20年3月31日

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	委託料収入	16,688	22,116				
	介護保険収入			3,900	4,800	58,500	3,500
	その他	0	0	0	0	12,100	702
	1割負担					5,850	
	食材料費					3,750	702
	雑収入					2,500	
	<b>収入合計(A)</b>	<b>16,688</b>	<b>22,116</b>	3,900	4,800	82,700	4,904
支出	人件費	10,689	20,039		8,300	32,000	1,200
	事務費	623	350	110	300	6,500	250
	事業費	1,910	900	30	10	7,100	300
	管理費	2,932	827				
	その他						
	消費税	534					
	戻入額						
	<b>支出合計(B)</b>	<b>16,688</b>	<b>22,116</b>	140	8,610	45,600	1,750
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,760</b>	<b>-3,810</b>	<b>37,100</b>	<b>3,154</b>

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。 (単位:千円)